

## 第4回宮崎交通圏・都城交通圏・延岡市タクシー特定地域協議会 議事概要

日時：平成23年7月25日(月)13:30～

場所：宮崎県トラック協会総合研修会館

### 1. 開会

### 2. 会長挨拶

みなさんご承知の通りタクシー事業というのは非常に厳しい状況にありまして、公共交通機関としての役割を担う一方で様々な問題を抱えています。供給過剰による需給バランスの崩壊、労働条件の低下など、これらの問題の改善を図るために協議会の中で地域計画を策定し、これに基づいて取り組みを進めている所であります。この後事務局の方から中間報告という形で進捗状況の説明などありますので、意義ある審議をして頂きますようお願いいたしまして、簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

### 3. 議事

#### 地域計画の進捗状況

事務局の宮崎運輸支局大迫首席運輸企画専門官より会議資料に基づき説明。

- ・特措法の概要について
- ・宮崎交通圏、都城交通圏、延岡市におけるタクシーの現状について
- ・特定事業計画の認定状況について
- ・各特定地域の事業再構築の状況について

#### 【石橋議長】

取り組み状況につきまして事務局より説明がありましたが、何か質問等はございませんでしょうか？

#### 【兵藤委員】

宮崎交通圏の減車率について8.3%ということだが、全事業者が減車しているのでしょうか？

#### 【事務局】

増車をしたら監査をしますよ。という通達が出たあとに、残念ながら、31台の増車をした事業者がいます。宮崎交通圏の事業者すべてが減車している訳ではなく、減車をして

いない3事業者を除いた他の事業者については1割程度の減車をしている状態です。

事業者に対して減車しなさいと直接言えない分がありますので、事務局としては、各事業者の輸送実績の内容を見ながら数字があまりよくない所につきましては、ご協力を求めて取り組みを進めている状況です。

**【石橋議長】**

まだ、取り組みの途中という所でございますので、適正車両数までは届いていない状況ですが、これからも指導等取り組みを行っていきますので、次の機会には、数字的には伸びてくるのではないかと考えています。

**【大重委員】**

減車の方向性についてどうしても納得できない所があります。規制緩和後に増車した事業者は保有台数も多いのだから、そういった事業者から率先して減車していくべきだと思います。うちなんかは昭和48年から32台で行っているが、台数は増えていない状況です。そういった中で、同じ基準で1割減車するのは厳しいと思うし、なかなか納得できないと思うところがあります。

**【石橋議長】**

先程の意見は、各事業者間で公平ではないので納得いかないというご意見ですが、他のタクシー協会のみなさんも同じようなお気持ちでしょうか？

**【村嶋委員】**

もう決まったことなのでここで話しても空論になってしまうことは間違いありません。ただ、基準車両数、宮崎で言えば19年11月、その他で言えば、20年7月をもって基準車両数と決まっているのだが、何でこの日をもって基準車両数と決めたのかその経緯が我々には解らない。これは中央省庁で決めたことですから、それに対する不満というのは確かにあります。ただそれを今からいうのはどうしようもないという気もあります。

**【事務局】**

基準車両数というのは、これを基準に減車した割合について、例えば、監査に関するインセンティブがありますが、そういうものを数字として図る際の基準車両数ですので、これから何割以上減らさなければならないということではなく、各地域によって格差はありますので各事業者が取り組んでいただくということになります。

**【村嶋委員】**

通達が出される直前に、増車している事業者がある。増車した後を基準にして、強制で

はないが、一律に減らそうとしても、増車した所と減車した所、同時に物事を進めようとしても話しにならないですよ。

#### 【石橋議長】

おっしゃることはよく解ります。規制緩和後に車両が増えたため、需給バランスが崩壊してしまい、現在の状況を作ってしまった。この状況を改善するために出されたのが特措法である。どこで線を引くかについては中央省庁で半強制と言いますか、決めたことをそのまま周知してきたというのが特措法だろうと思います。ただ、今のままでいいのかというと、みなさんそうではないとおっしゃると思います。じゃあ皆さん同じ状況でいいのかというとなかなか納得できないし、進まない。そこをどう抑えるかという所が一番問題だという気がする。

あそこが減らさない、じゃあうちも減らさないとなると、どこも減らさない。減らすのがいいとか悪いとかはまた別の問題として、現状は、需給バランスが崩壊していて、需要に対して、供給がものすごく増えている。ただ単純に考えますと、供給を減らせばバランスがとれるということです。そこをどうやっていくか、事業者の皆さんに協力を依頼しているところであります。バランスがとれていくと、労働条件の改善にも繋がりますし、日車營收も上がってくると予測されるので、どこかで線を引いて良い方向にもっていくのか、いやまだまだということでもそのままにしてしまうのか、ということになってしまう。ただ今のままではどうしても良くはならない。じゃあ良くするためにはどうするのかということで、この協議会で図って地域計画を作ったところなので、これに沿った形で、努力または協力をお願いするしかないと思っています。

#### 【吉本委員】

宮崎交通圏では8.3%車両数は減っていますが、納得できない状況で減車しております。宮崎で言うと、14社ありますが、3社を除いてすべて減車をしている。その中で、どうしても地域のトータルで見られてしまい、8.3%では足りないので、さらに減らせということになってくる。今言った3社全く減らさない所がありながら、他の事業者が減らしているというのが現状であります。もちろん、強制はできないですし、協力してくれない事業者がいます。その3社は新規で入ってきた事業者もあり、増車した事業者でもありますし、1台も減らしていない。そういった中での8.3%という数字であることを皆さんにご理解頂きたい。

#### 【大重委員】

増車した事業者が減らすのが基本だと思っています。納得できるような減車のしかたであれば物事はスムーズに行くと思います。

### 【事務局】

先程の事業者の意見は、運輸局としても受け止めまして、今後実施していきたいと思えます。

4月13日に、減車を実施しない、協議会に参加しない事業者については今後調査をし、ヒアリングを行い、それに基づいて違反等があれば監査を行うという通達がでましたので、こういったものを活用しながら、指導等を強化し、協力を求めていきたいと思えます。

供給を減らすことも重要ですが、需要を増やすことについても重要なことでもありますので、新しい需要の開拓に努めていただき、計画を進めていただくようにしていただければいいのかなと思っています。

### 【石橋議長】

宮崎だけでなく、全国どこでもあることですので、それを踏まえて本省の方で、先程説明がありました通達が出ています。これを実施してどうなるかわからないが、行政としても非協力者に対して協力を求めていき、数字が上がるのを期待したいと思えます。

労働局さん労働関係の方で何かございますか？

### 【東委員】

我々は、労働基準の改善に向けて、監督を行うというのが基本的な業務となりますが、その他にも、取り締まる機関とは別に、労働者の労働条件を確保するということで、タクシーなど、自動車を運転する業種につきましては、労働時間が長いということもございますので、長時間労働を抑制するとか、有給休暇取得を促進させるなど、働き方というのをうまく組み合わせて、各労働者の働きやすい環境作りを支援していこうということ、取り締まるだけではなく、これからは、我々の仕事の大きなところになっていくのかなと思っています。問題を見つけに行くのではなくて、問題があるので、改善するにはどうしたらいいでしょうかといった感覚でもっと気軽に利用していただければと思えます。

先程から減車の話がありますが、もうちょっとタクシーを利用する所を考えてもいいのかなと思えます。私はこの4月に宮崎に来たのですが、宮崎といえば、観光立県というイメージがあるが、なかなかタクシーを利用する機会がないのかなと思えます。

例えば、宮崎空港に来て、宮崎を観光するとなったときに、高千穂や、あとは、食べ物がおいしいということは認識しているのですが、実際どのような観光名所やプランがあるかなど内容については分かりにくく、タクシーを利用する機会が少ないという印象を受けました。

### 【石橋議長】

観光という話しがでましたので、各自治体の方でタクシーについて何かありましたらお

願います。宮崎県さん何かありませんでしょうか？

【中田委員】

昨年から口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳など観光に大きな影響があり、タクシーについても厳しい状況であったと思います。そういったなかで、県だけではなく各市町村、観光協会も、復興のために、取り組んでいるところですが、今年で言えば、東日本大震災もあって、なかなか先が見えない状況もあって皆さん非常に困っているかと思いますが、12月からJRのほうで、南九州である鹿児島、宮崎、熊本を目的としたデスティネーションキャンペーンというのが2、3ヶ月JRで取り組まれると聞いています。これは、かなり増客実績が上がっているキャンペーンですので、ある程度期待ができと思っています。

昨年の口蹄疫からの復興ということで、予算もついており、復興のための色んな事業に取り組むようにしているところです。そういうなかで、我々が観光に取り組むときに、空港、駅について、タクシーに乗った時に、運転手さんの対応というのが、その地域の最初の出会いとなりますので、計画の中にもありますように、安全というのは一番大事だとは思いますが、接客マナーという部分についてはもちろん力を入れていただいているとは思いますが、より力を入れていただきたいと思っています。

昨年、タクシーに乗って、弁当箱を車内に忘れたので、タクシー会社へ電話したところ、すぐ次の日に見つかったという連絡がありました。そういうサービスもタクシー協会のほうで力を入れていただいているのかなと思います。その一方で、先日、私はバイクで通勤をしているのですが、狭い道を走行していたときに、後ろからタクシーが猛スピードで抜いていったので、もう少しそのような点につきましては、指導や教育を行っていただきたいと思っています。

タクシーだけではなく、バスも含め、お客さんと接する機会も多いと思うので、もちろん行政の方も誘客に取り組んでいきますが、接客に関する指導を引き続き願います。

【石橋議長】

昨年から口蹄疫等の被害が出ていて、今年は、観光に力を入れるイベント等もあるので、それに関するご協力や、運転マナーなどのお願いという話しでしたが、タクシー協会として何かありませんでしょうか？

【工藤委員】

最近、車を利用するにあたって多様化しています。そのなかでも、レンタカーは、人がいないのでなかなか勝てません。運転代行は、タクシーの半額であります。タクシーの一番の収入源であった3000円から4000円のお客さんが持っていかれている。これは、飲酒運転撲滅という面では非常に効果があったと思いますが、タクシー業界としては、大きな打撃を受けています。そういった中で、タクシー協会としても行政と連絡を取

り合って、努力していきたいと思っています。現在、供給過剰ということで、減車を進めており、協会としては減車率10%に近づける努力をしていきますので今後ともよろしくをお願いします。

【石橋議長】

ありがとうございました。他に何かありませんでしょうか？

【梅崎委員】

先程、観光のお話がでしたが、特に宮崎駅は、提灯の行灯をつけた個人タクシーが待機しております。遠距離・近距離にかかわらず丁寧な対応を心がけているところです。個人タクシー協会としては、マスターズ制度を設けております。そういったなかで、近距離のお客さんへの対応が悪いという情報が入ったら、その都度指導を行っております。特に、駅は宮崎の玄関口であり、県外のお客さんを最初に迎え入れる場所でもあります。個人タクシーは、タクシーでの運転経験年数など、選ばれた者でないと許可を取得できないということもありますので、これからも努力を続けていきたいと思えます。

【石橋議長】

ありがとうございました。他に何かありませんでしょうか？

【吉本委員】

15年前は、売り上げの30%近くが観光であったが、現在は3%ほどであります。ルート別運賃等を計画しているがなかなかこれも難しいところでもあります。

介護タクシーの件ですが、うちもやっていましたが、今はほとんど稼働していません。

介護保険改正後は、ペイできない状態であります。東日本大震災のときの話しを聞いたのですが、ガソリンが無い状況で、透析患者等を移送するときに、ものすごく苦労したそうです。公共交通機関であるにもかかわらず、一般車両と同じようにガソリンスタンドに並ばなくてははいけなかったそうですので、そういった所をもう少し対応していただければと思いました。

【石橋議長】

ありがとうございました。時間もそろそろありませんので、最後何かありませんでしょうか？

【谷口委員】

福祉タクシーの話が出ましたが、これから高齢化が進んで、運転免許証を返納したときに、タクシーしか移動手段がないようになってきます。買い物ができない人たちのため

に地域で取り組んでいる所もあります。観光だけではなくて、住民側に立ったあり方も考えていく必要があると思います。

例えば、観光で綾に行くときに、バスの便が悪いので、タクシーを頼みたいがタクシーだったらどれくらいかかるのか、4人で行くのだったらバスよりも安いのかなどいろいろ聞かれます。距離はわかるが、費用はわからないとなると、結局車で行くとかレンタカーで行くとなるので、そこは惜しいと思います。

もっと使いやすいタクシーの方法を考えていただくといいのかなと思います。

#### 【石橋議長】

ありがとうございました。もう、時間が来ていますので、本日の意見については今後検討させていただいて、有意義な形で実践をしていきたいと思います。今後ともご協力よろしく申し上げます。今回は、中間報告ということなので、次回はもっと進んだ形で報告できたらいいと思っております。

最後、その他で何かありますでしょうか？

無いようですので、議事を終了し、議長を終わらせていただいて、司会の方を事務局へ返したいと思います。よろしく申し上げます。

4．閉会（15：00）

#### 【配布資料】

- ・協議会議事次第
- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・第4回 宮崎交通圏・都城交通圏・延岡市タクシー特定地域協議会(会議資料)